

輝け！ 一小子 No.7**一学期終業式特集号(児童向け)**

発行者 校長 上村哲也

1学期をふりかえってみましょう

今日で1学期が終わります。学校再開からわずか2か月ほどでしたが、みなさん一人一人がいろいろな目標をもち、努力を積み重ねてきました。

第一小学校では、「心にひびくうた 心をこめたそうじ えがおであいさつ」を合い言葉にしています。残念ながら、みんなで合唱することはできませんでしたが、そうじに一生懸命取り組み、きちんとあいさつできる人がどんどん増えてきました。ところで、簡単そうで難しいのがそうじとあいさつです。そこで、私が見つけたそうじとあいさつ名人に話を聞いてみました。

おそうじ名人の話**3年 HMさん**

そうじが大好きなわけではありませんが、やらないではいけないことだと思います。一生けんめいそうじすると、「自分でよくできた」と思うし、気持ちがすっきりします。

5年 TMさん

学校はみんなが過ごす所だから、きれいにしてお過ごしやすいうようにしています。きたない所をそうじするのはいやだけど、きれいになるととてもうれしくなります。

2年生くらいのおとき、つくえの上をかたづけたら勉強もはかどるようになりました。これからはみんなのために気持ちいい環境をつくりたいと思います。

4年 SHさん

ほこりを見るときたないと思うし、ほうっておくといやな気持ちになり、そうじしたいという気持ちが出てきます。きれいにすると心の中がすっきりします。

ほこりまみれの学校ではいい気持ちでいられません。みんなであつかう一がだめになってしまう気がします。

6年 YRさん

家ではあまりそうじをしません、きれいではありません。きたない場所を見るときれいにしたいと思います。きれいになると気持ちいいし、達成感があります。

学校はたくさんの方が使う場所です。5年生くらいから「しっかりそうじしよう」と思うようになりました。これからも続けていきたいと思っています。

あいさつ名人の話**3年 MKさん**

学校であいさつは大切と教わりました。知ってる人にはおじぎしてしっかりあいさつしようと心がけてます。

元気にあいさつするとうれしくなります。きっと相手もうれしく感じてくれると思います。

4年 KFさん

お母さんがいつも元気にあいさつしてくれます。私もお母さんと同じようにあいさつをするようにしています。

あいさつすると人とつながっていると感じます。みんながうれしくなるといいから明るい顔であいさつしてます。

5年 KMさん

4年生くらいからなるべく相手よりも早くあいさつするよう心がけています。あいさつをするとすっきりします。相手も同じだと思いますし気持ちよく交流できます。

友だちには「おはよう」、先生には「おはようございます」とあいさつします。先生にお辞儀をするのは失礼のないようにしようと思うからです。

6年 SKさん (生活安全委員)

「あいさつ運動に取り組んで(感想)」
できるだけ自分たちからあいさつしようと心がけました。心をこめたあいさつは難しいと感じましたが、なれてくるとはずかしさもなくなり、あいさつしやすくなりました。

みんなが元気にあいさつをしてくれると、今日もがんばろうという気持ちになります。みんなでもっとがんばって、学校を明るくしたいと思いました。

この他にも紹介したい人がたくさんいますが、ここで紹介した人たちの話を聞いて、次のようなことに気づきました。

○取り組むことの大切さやよさを知っている。 ○なかまや周りの人のことも考えている。

○「がんばってできるようになった！」という自分の成長を感じている。

みなさんは、どんなことができるようになりましたか。1学期をふりかえって努力したことを見つけ、ご家族のみなさんに話してあげましょう。

夏休みをどのようにすごしますか？「新しい生活様式で」

6月に学校が再開したとき、放送朝会でつぎのような話をしました。

新型コロナウイルス感染症によって私たちの生活は大きく変わることとなりました。友達との間をあける 休み時間にしっかり手を洗う 大きな声で向かい合って話をしないなど 新しく身につけなくてはならない生活習慣が幾つもあります。まずは自分で気を付けて そして、友達同士で気遣いあって しっかりと身につけましょう。

1学期はこれまでとちがう不自由な学校生活を送りました。

毎朝の健康観察 マスクをつけての生活 こまめな手洗い などなど・・・

学校では、先生たちに見守られて生活を送っていました。その中で、いつしかみなさんもコロナに慣れ、初めのうちは自分で用心していた心にも、少し油断が見られるようになりました。でも、世の中には再びコロナが広がり始めています。

夏休みは、学校をはなれて生活を送ります。ただし知識をもち、コロナと向き合っていかななくてはなりません。ご家族のみなさんの話をよく聞き、お父さんやお母さん、身近にいる大人の正しい行いを手本として、新しい生活様式がしっかり身につくように努力し、楽しい夏休みを過ごしてほしいと思います。



九州豪雨募金

期間:7月20日(月)~7月22日(水)
やり方:各クラスのふくろに入れる。

みなさんが募金してくれたお金は、大雨の被害を受けた熊本県の人達の生活を元通りにするのに使われます。ぜひ協力をお願いします。



九州豪雨募金 (青少年赤十字委員会)

青少年赤十字委員会が中心となり、九州の被災地支援に向けて募金活動を行いました。

集まった金額 81,585円

募金は日本赤十字社へお届けし、役立てていただく予定です。

今年の夏は、九州だけでなく、日本のいろいろな場所で大雨による被害がでています。

館林市でも、去年の台風19号のとき、多くの人たちが避難し、第一小学校も避難所になりました。

みなさんも大雨や雷、突風などの災害にそなえ、行動の仕方についてご家族と話し合っておきましょう。

※今回の学校だよりは、終業式における「校長の話」の資料として、児童向けに作りました。終業式は、新型コロナウイルス対策として、放送で行いました。